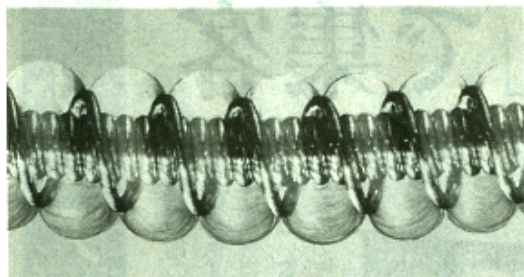


腹部血管で「膨らむコイル」



血管塞栓用コイル「アズール」。コイルに塗られたハイドロゲルが血管内で膨らむ

米国・カリフォルニア

コイルは血液内の水分で膨らむハイドロゲルでコーティング。コイルは直径0・46ミリだが、瘤の中では直径が2倍弱に膨らんですき間を埋める。コーティングされていない従来品と比べると容積では5倍になるため、その分治療時間を短縮し、体への負担を軽くする。

テルモ完全子会社で、医療機器製造販売のテルモ・クリニカルサプライ（各務原市川島竹早町、深澤弘道社長）は、腹部や足の血管内治療に使う血管塞栓（そくせん）用コイル「アズール」を発売した。血管内で膨らむコイルで、腹部動脈瘤（りゅう）や血管奇形の治療に使う。2014年3月期に6億円の売り上げを目指す。

同社は、血管内に入れた肝臓がんなどの治療に使う腹部向けカテーテルでは国内シェア約3割を占めるトップメーカー。12年3月期の売上高は44億円。「アズール」は、腹部や足の血管にできた瘤の治療に使う最新の医療器具。瘤の中をブラチナ製のコイルで埋めることで破裂を防いだり、流れる血液の量をコントロールする。

ア州のテルモ子会社が製造し、米国では08年、

テルモ・クリニカルサプライ、医療器具発売

動脈瘤治療、患者の負担を軽減

欧州では09年に発売している。
テルモは脳動脈瘤などの治療用のコイルはすでに販売しており、「アズール」にはその技術を応用した。グループとしてもカテーテルに力を入れている。